

質 問 者 高 野 晃

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 住民の不安に向き合う 原発行政を	ここ数年、女川原発内での様々なトラブルが頻
	発しています。今年の1月から5月までの間に3
	件の労災事故、昨年は1件の労災事故、IDの取
	り違い、通行許可証を不正に発行するなどの
	ヒューマンエラーや地震による機器の不具合も見
	受けられました。
	(1) トラブルが相次ぐ女川原発と行政の対応に
	ついて伺います。
2 国道398号(ブルーライン) の拡幅整備の要請を	(2) 女川原発におけるこれまでの基準地震動設
	定は適切ですか。
	(質問の相手：町長・担当課長)
	崎山トンネルが完成し、出島架橋の工事が進めら
	れている国道398号(ブルーライン)ですが、各浜
	間の部分がカーブも多く狭い箇所が見受けられ住民
	からも道路拡幅の要望の声が聞かれます。
	(1) 本町では、ブルーラインの現状をどのように
	考えますか。
	(2) 生活道であり産業道、避難道、観光道でもあ
	るブルーライン拡幅整備を町として県に要望を。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質 問 者 高 野 晃

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 清水地区の準工業地域の利活用は	清水地区の準工業地域とされている町有地の部分
	ですが、整備されてから数年経ちますが、その一部
	が女川スタジアム及び町民農園として利用されるに
	留まり、旧清水一区、旧清水三区の部分は利用され
	てないように見受けられます。
	(1) 旧清水一区及び旧清水三区の準工業地域の利
	用計画はあるのか伺います。
	(2) 観光農園や施設園芸農業などに活用を。
	(質問の相手：町長・担当課長)